

児童たちも心待ち

清滝小の屋内プール今月完成

工事費六千六百万円をかけて清滝小学校に建設している屋内プールの新築工事は、予定どおり今月中旬に完成の見通しとなっています。

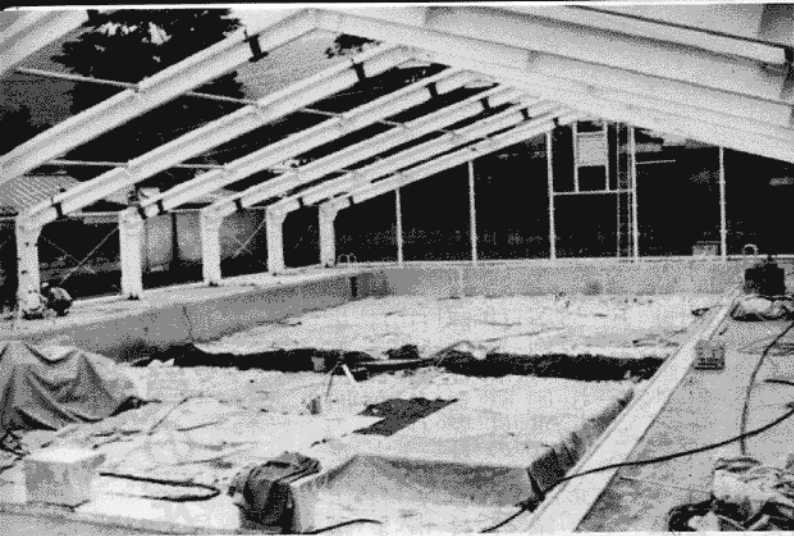
すでに、鉄骨組、プール本体、プールサイドのコンクリート打ち、ろ過装置のある機

械室、管理棟などが完成、あとは、屋根と外壁を覆うシート（厚さ〇・六ミリのテトロンターポリンシート）をつけるだけとなっています。

プールは、縦二十五メートル、横十三メートル（六コース）のアルミ製で、水深は〇・九メートルから一・一メートルとなっています。

ルがあるのは日光小学校だけ。これも屋外プールで、日光の気候では利用期間が夏の一時に限りられています。このような特殊性を考えて、清滝小学校のプールは、屋根と側面を保温効果の高いシートで覆ったもので、これにより、六月から九月までの四か月間は

利用できることとなります。



日光キスゲの里帰り

市長らが1200株を補植

霧降高原

日光キスゲのシーズン前にした六月二日、霧降高原でキスゲの補植が行われました。

この補植は、心ない観光客などに踏み荒らされ、各所にキスゲのない場所ができていたため、これらの場所に植え込むもので、今年が九回目になります。

この日は、斎藤市長を先頭

に、市農林課、リフト事業所職員ら三十人が参加、千二百株を一株一株ていねいに植えていました。

補植用のキスゲ苗は、これまで所野小倉山にある市農業マイクログ実験場で育ててきましたが、小倉山林公園整備事業の関係で同実験場が廃止され、キスゲ苗の育苗ができ



市長も自らキスゲの補植

なくなりません。そこで、市農林課は、今年度から市内の農家にキスゲ苗の育苗を委託、ほ場面積も実験場の約三倍にあたる二〇アールを予定しており、この補植作戦を続けていくことにしています。

日光キスゲの見ごろは7月中旬

異常低温のため開花が遅れていた日光キスゲは、先月下旬からようやく咲き出し、七月中旬が見ごろになる見通しとなっています。

ここ数年、鹿による被害や雹（ひょう）害で、せっかく

つれた花芽を食い荒らされたり落されていますが、今年は、今のところこれらの被害もありません。リフト事業所では「このままの状態が続けば、今年はずばらしい日光キスゲが見られるでしょう」と、話していました。

